

情報連絡員報告総括表(令和6年2月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌製造業	↘	→	→	→	→	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震の発生により、味噌醤油業界は、富山県西部を中心に工場が被災するなど、製造出荷に影響が出ている。また、観光客の減少により、ホテル・旅館、飲食店での味噌醤油の利用が激減している。 ・北陸新幹線敦賀延伸に水を差された状況だが、3月から始まる北陸応援割に期待している。
	パン製造業	↗	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の値上がり止まらない。 ・働き方改革による人手不足を強く感じている。 ・企業の活動が弱く、残業もない。
	豆腐製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	→
繊維工業	ニット製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料関連の先行きが不透明である。
	絹人織織物製造業	↘	↗	→	→	↘	↘	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・化合繊維物並びに絹織物の状況は前月と変わっていない。 ・原材料価格とそれ以外の資材価格の上昇が続いており、ここ数年商品価格を上げてきたが、販売数量が減少している。 ・売上が増えていないのに、賃金上昇分も加えて経費を販売価格に転嫁出来るのか不安である。また、売上金額を維持出来るか危惧している。
	綿・スフ織物業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
木材・木製品	一般製材業	↘	↘	→	↘	↘	→	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.3%減と大変厳しい状況で、取引条件、収益状況が悪化している。特に、県内のプレカット工場受注量は低水準で先行きも見通せず、廃業する会員が出るなど低迷が続いている。 ・ロシア材の需要の回復は見込めず、客足の悪い状態が続いているため、木材関連事業者は非常に厳しい経営環境にある。 ・能登半島地震の発生により、県素材生産組合員は支障木等の除去作業に取り組んだり、製材工場は復興仮設住宅関連資材の提供依頼があるなど、引き続き、復旧復興に対応していく。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震発生による風評被害により、お客様が激減し井波彫刻が売れていない。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械、工作機械及び産業機械関連など、全ての業界の受注が落ち込んでいる。 ・先行きの景況感も悪化しており、当面は厳しい状況が続くと考えられる。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・地金価格が高止まりしている。
	アルミニウム製品製造業	↘	→	↗	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄工業製造部門は、前年同月に比べて生産実態が好転している。 ・ハローワークや工業高校に求人を出しても、福利厚生面等から希望者が来ないため、ハローワークのWeb上での採用活動を積極的に利用するために、採用動画の作成費の補助を目的とする補助金の活用を各企業に広報している。
	めっき加工業	↗	→	↗	→	→	→	→	↘	→	<ul style="list-style-type: none"> ・前年値上げしたことが要因となり、前年同月比で売上高は増加している。 ・退職者が出ているため雇用人員は不足している。
一般機器	金属工作機械製造業	↘	↗	→	↘	↘	→	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・受注状況は前年同月比79.94%と大幅に減少し、売上高及び収益ともに厳しい業況が続いている。 ・海外(特に中国)向けの受注の落ち込みがかなり響いている。
	金属加工機械製造業	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	非金属用金型製造業	→	→	↘	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが決算を控え、金型の需要も高まり、活況を呈する時期ではあるが、これまでになく需要が低迷している。特定の要因も見受けられず、世界情勢の混迷さの余波とも思われる。 ・コロナ禍以上の先行きの不透明感が強く、動向の不確定さがより一層増している。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↘	→	→	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・産業機械向けの部品は、需要が回復しておらず、低迷している。 ・量産品を製造しているため、サプライチェーンの構造上価格転嫁が出来ない。しかしながら、仕入れ品については継続的に値上げの連絡がきている。 ・収益面の悪化傾向が続いている。 ・引き続き若手社員が不足している。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	↗	→	↗	→	↗	→	↗	↗	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業支援補助金(災害復興事業)申請に対してのサポートとして、伝統的工芸品産業振興協会から中小企業診断士等の支援があり、能登半島地震で被災した組合員は指導のもと、補助金申請を行っている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備 操業度	雇用 人員	業界の 景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸 売 業	セメント卸売業	↑	→	→	→	↑	→		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には建設需要の低迷に変化はないが、前年と比べて小雪であったため、停滞していた工事が予想以上に進捗した結果、組合取扱い袋セメント量は増加している。 ・しかしながら、年度末にかけては前年並みの出荷は期待出来ず、組合収支の黒字を維持出来るかは微妙であり、新たな組合存続対策が必要となってきた。
	非鉄金属製品卸売業	↓	↓	↑	↓	↓	↓		↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・2月は展示会シーズンのため、新規取引が多少だが見られる。 ・能登半島地震の影響は色々な形で現れ厳しい状況ではあるが、前向きな影響として、伝統産業を応援しようという理由での受注が見受けられる。
小 売 業	鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業	↑	→	↑	→	↓	↓		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店が好調なことや価格転嫁が徐々に進み、売上は増加傾向にあるが、人件費、水道光熱費、仕入価格の高騰により、収益性は改善されていない。現在も毎月仕入単価の上昇が続いている。 ・能登半島地震の影響を受けた地域では、施設設備の修繕が追い付かず、ギリギリの営業を強いられている店舗が多くある。
	野菜・果実小売業	↓	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・富山卸売市場全体の売上高は、前年同月比106%となっている。 ・青果組合全体の売上高は、前年同月比88%となっている。
	家庭用電気機器小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		↑	→	・特になし。
	ガソリンステーション	→	→	↑	↓	→	↓		↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減に加えて、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制などSSの経営環境は厳しさを増している。 ・物価高による個人消費の抑制から需要の回復感は弱く、ガソリン販売量は、平年並みがやや減少、軽油は除雪車向けの需要減から減少の見込みである。 ・販売価格については、レギュラーガソリン、ハイオクガソリン、軽油それぞれ前年同月と比較すると8.7円高い状況が続いている。 ・能登半島地震の発生によって、県内避難所への灯油配達や海上自衛隊への軽油給油を行っている。
	農機具小売業	↓	↑	↓	↓	↓	↓		→	↓	・暖冬小雪の影響で、冬物商品の在庫が増えている。
	ショッピングセンター	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同月比で売上は107.1%、客数は105.2%と前年を上回っている。 ・衣料部門が伸びており、出掛ける機会が増えたことが要因と思われる。
	ショッピングセンター	↑	→	↑	→	↓	↓		→	↓	・物価高に加えて、能登半島地震の発生により、消費者の節約志向が更に強まっている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	・商店街や商店街にある百貨店のイベント等にかんがりの利用客があり、人出が増えてきている。 ・能登半島地震の影響は、入込客数を見ると少なくなっているようだが、商店街の店舗については古いものも多く、雨漏りや外壁補修等でかなりの痛手となっている。店舗前入口の被害は大家の責任、内部はテナントの責任とのことである。
	商店街	→	→	↗	→	→	→		→	→	・昨年と状況は変わっていない。
サービス業	クリーニング業	→		→	→	↘	→		→	↗	・特になし。
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	・売上について、前年同月比で8%増加している。 ・営業時間について、昼はほぼコロナ禍前の状況に戻っているが、夜はムラがある。
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	・特に大きな変化はない。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	・2月の自動車新車新規登録・届出台数は、大手車メーカーの不正による出荷停止により、前年同月比で2ヵ月連続で減少しているが、今後は生産再開車種が増えるため、上向くことが期待される。 ・受注残の解消後は、ウクライナ情勢、為替市場、物価高騰などの状況によっては、自動車の車両価格が更に値上がりすることとなり、購買意欲が薄れ、新車販売台数の減少となることが予想される。 ・自動車整備事業者においては、自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えており、対応できない事業者は扱える車種が加速度的に減少していく状況である。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	→		↘	→	↘	→		→	→	・中小物件の長引く落ち込み、大型物件の建設コスト増大による規模の縮小や延期、図面承認の遅れによる工程のズレなどで、工場稼働率は下がっているため、仲間同士の仕事のやり取りや付帯金物を加工しながら、価格維持に注力していかなければならない。 ・鋼材費、人件費など諸々のものが値上がりしていく中、稼働率が低い時こそ原価管理をしっかり行い、受注価格を上げて利益を出していかなければならない。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	・景況に変化はない。 ・新年度予算の債務負担行為による水道管の早着工事が発注され、仕事の閑散期での発注のため助かっている。 ・能登半島地震発生による石川県七尾市の水道断水解消のため、復旧作業に取り組んでいる。
	電気工事業	↗		→	→	→	→		→	→	・住宅着工件数が昨年後半より下降傾向にあることから新築工事量は減少しているが、改修工事は暖冬により増加している。 ・公共工事は、昨年より増加している。 ・能登半島地震の発生や県外大規模イベント、銅単価の高止まりにより、電線の供給不足や高騰が続いている。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	・働き方改革関連法の施工が近づいているにもかかわらず、有効な対策を見いだせないのが実情であり、4月以降物流がどうなるのか不透明である。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	・燃料価格について、前年同月比+6.3円/ℓと高値が続いている。 ・荷動きは、前年同月比100.6%と前年並みだが、景況感は厳しい状況が続いている。 ・働き方改革の運送部門の特例が4月から無くなるため、今以上に苦しくなるのではと不安である。